

新規		H27継続（変更あり）	○	H27続		助成開始年度	27
----	--	-------------	---	------	--	--------	----

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	滝上町地域農業再生協議会	整理番号	1
活用枠 ※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠・水田分 <input checked="" type="checkbox"/> 従来枠・畑地分 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類 ※2 <input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
使途	湿害対策【基本枠】		
対象作物	【基幹作物】 てん菜		
単価	3, 7 0 0円/10a以内	前年度の単価	3,800円/10a以内
内 容	湿害対策（心土破碎、堆肥施肥施用、明暗渠施工等）を実施することにより、収量・品質の安定向上を図る取り組みに対し支援する。		
具体的要件	<p>○助成対象者：出荷・販売目的で対象作物を生産し、取組み要件を満たす農業者。</p> <p>○対象農地区分：畑地</p> <p>○取組要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・以下により1以上実施。（ただし、国や道が助成する生産基盤整備等で実施した場合は対象外とする。） 心土破碎（サブソイラー、プラソイラー等施工）、堆肥施用、明暗渠の施工（無材暗渠施工含む）心土改良（カッティングソイラ等施工）も対象とする。 ・前作物の収穫後から対象作物の収穫までの期間内に取組を実施する。 ・堆肥施用については、「北海道施肥ガイド」や「北海道における有機資質財の利用ガイド」を活用することとし、1トン/10a以上散布（地力を維持するための堆肥施用量）し、作物が正常に生育し、適正な収量・品質の農産物が得られ、かつ環境に負荷を与えない量を施用すること。その際、堆肥の肥料効果を見込んで、「北海道施肥ガイド」等を活用し適正施肥に努めること。 		
確認方法	<p>○助成対象者：交付申請書、営農計画書等で確認。</p> <p>○対象農地区分：営農計画書等で確認。</p> <p>○取組要件、助成対象面積等</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 作付面積（実面積）：共済加入者は共済取引面積、共済未加入者は農協が確認している面積により確認。 ② 取組実施面積（取組を実施した実面積）：作業日誌、圃場図等により確認 ※地域の実情に即し、必要に応じて、抽出による現地調査や聞き取り調査を実施 ③ 助成対象面積（a未満切捨て）：「①と②の小さな方」×「交付対象比率」 ※交付対象比率とは畑作物の直接支払交付金の交付算定で用いる比率であり、例年1月頃に国から公表される。 ④ 交付額（円未満切捨て）：③助成対象面積×助成単価 		
備 考	<p>○以上のほか、国や道が別途定める取組内容に準じる。</p> <p>○産地交付金の道枠の取組メニューなどと支援内容が重複しないよう、産地交付金の取組メニューに設定・活用では留意する。</p> <p>○当該助成により、輪作体系の維持・確立はもとより、国産砂糖を安定的に供給することを目的とする</p>		

新規		H27継続（変更あり）	○	H27続		助成開始年度	27
----	--	-------------	---	------	--	--------	----

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	滝上町地域農業再生協議会	整理番号	2
活用枠 ※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠・水田分 <input checked="" type="checkbox"/> 従来枠・畑地分 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類 ※2 <input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
使途	直播栽培【加算】		
対象作物	【基幹作物】 てん菜		
単価	1, 5 0 0 円/10a以内	前年度の単価	1, 6 0 0 円/10a以内
内 容	直播栽培を実施することによって、省力化を図る取り組みに対し支援する。		
具体的要件	○助成対象者：出荷・販売目的で対象作物を生産し、取組み要件を満たす農業者。 ○対象農地区分：畑地 ○取組要件 ・直播栽培を実施していること。 ・取組み実施面積：直播によりてん菜を作付けし収穫した面積。 ・加算については、基本枠部分への追加支援という位置づけとし、基本枠を実施した圃場において、加算の取り組みを実施した部分を対象とする。		
確認方法	○助成対象者：交付申請書、営農計画書等で確認。 ○対象農地区分：営農計画書等で確認。 ○取組要件、助成対象面積等 ① 作付面積（実面積）：共済加入者は共済取引面積、共済未加入者は農協が確認している面積により確認。 ② 取組実施面積（取組を実施した実面積）：作業日誌、圃場図、種子購入伝票等により確認 ※地域の実情に即し、必要に応じて、抽出による現地調査や聞き取り調査を実施 ③ 助成対象面積（a未満切捨て）：「①と②の小さな方」×「交付対象比率」 ※交付対象比率とは畑作物の直接支払交付金の交付算定で用いる比率であり、例年1月頃に国から公表される。 ④ 交付額（円未満切捨て）：③助成対象面積×助成単価		
備 考	○以上のほか、国や道が別途定める取組内容に準じる。 ○産地交付金の道枠の取組メニューなどと支援内容が重複しないよう、産地交付金の取組メニューに設定・活用では留意する。 ○当該助成により、輪作体系の維持・確立はもとより、国産砂糖を安定的に供給することを目的とする		

新規		H27継続（変更あり）	○	H27続		助成開始年度	27
----	--	-------------	---	------	--	--------	----

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	滝上町地域農業再生協議会	整理番号	3
活用枠 ※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠・水田分 <input checked="" type="checkbox"/> 従来枠・畑地分 <input type="checkbox"/> 追加配分枠		分類 ※2 <input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
使途	病害虫対策【加算】		
対象作物	【基幹作物】 てん菜		
単価	900円/10a以内	前年度の単価	1,000円/10a以内
内 容	<p>基幹作物であるてん菜の作付面積の減少が地域の大きな課題となっており、近年の異常気象による減収や糖度などの内部品質低下が続いております。特に褐斑病及びヨトウガの発生時期が早まる傾向にあり、防除回数が増加している状況であることから、適期防除の徹底を推進する必要があります。また、防除期間の長期化に伴い防除経費が増加しており、てん菜の面積減少がさらに加速化することが懸念されていることから、褐斑病防除及びヨトウガ対策の取組に対し支援する。</p>		
具体的要件	<p>○助成対象者：出荷・販売目的で対象作物を生産し、取組み要件を満たす農業者。 ○対象農地区分：畑地 ○取組要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北海道農作物病害虫・雑草防除ガイド」等により適正な病害虫対策（褐斑病及びヨトウガ対策）を実施していること（4回以上実施）。 ・取組み実施面積：褐斑病防除及びヨトウガ対策を行い、てん菜を作付けし収穫した面積。 ・加算については、基本枠部分への追加支援という位置づけとし、基本枠を実施した圃場において、加算の取組みを実施した部分を対象とする。 		
確認方法	<p>○助成対象者：交付申請書、営農計画書等で確認。 ○対象農地区分：営農計画書等で確認。 ○取組要件、助成対象面積等</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 作付面積（実面積）：共済加入者は共済取引面積、共済未加入者は農協が確認している面積により確認。 ② 取組実施面積（取組を実施した実面積）：作業日誌、圃場図、生産履歴等により確認 ※地域の実情に即し、必要に応じて、抽出による現地調査や聞き取り調査を実施 ③ 助成対象面積（a未満切捨て）：「①と②の小さな方」×「交付対象比率」 ※交付対象比率とは畑作物の直接支払交付金の交付算定で用いる比率であり、例年1月頃に国から公表される。 ④ 交付額（円未満切捨て）：③助成対象面積×助成単価 		
備 考	<p>○以上のほか、国や道が別途定める取組内容に準じる。 ○産地交付金の道枠の取組メニューなどと支援内容が重複しないよう、産地交付金の取組メニューに設定・活用では留意する。 ○当該助成により、輪作体系の維持・確立はもとより、国産砂糖を安定的に供給することを目的とする</p>		

新規		H27継続（変更あり）	○	H27続		助成開始年度	27
----	--	-------------	---	------	--	--------	----

産地交付金の活用方法の明細（個票）

協議会名	滝上町地域農業再生協議会		整理番号	4			
活用枠 ※1	<input type="checkbox"/> 産地戦略枠 <input type="checkbox"/> 従来枠・水田分 <input checked="" type="checkbox"/> 従来枠・畑地分 <input type="checkbox"/> 追加配分枠					分類 ※2	<input type="checkbox"/> ア <input type="checkbox"/> イ <input type="checkbox"/> ウ
使途	病害対策						
対象作物	【基幹作物】 小麦						
単価	400円/10a以内		前年度の単価	500円/10a以内			
内 容	<p>当地域は、オホーツク海沿岸部特有の気象条件になることが多い地域で、各農家においても多様な畑を所有しており、それらの畑は朝霧・夕霧等の影響により、病害（赤カビ病）の防除適期は一律とはならず、降雨等がある中、限られたタイミングで防除作業を行うため、適期に防除できる畑とできない畑が発生する状況となっており、防除回数も2回又は3回とバラつきがあり十分な防除効果を発揮しているとは言い難い状況となっている。</p> <p>そのような状況の中、十分な防除効果を発揮するため、慣行よりも防除間隔を縮めるなどの対応を図り、地域としての防除回数を3回と統一した中で病害防除対策（赤カビ病）を実施し、収量・品質の安定向上を図る取り組みに対し支援する。</p>						
具体的要件	<p>○助成対象者：出荷・販売目的で対象作物を生産し、取組要件を満たす農業者。</p> <p>○対象農地区分：畑地</p> <p>○取組要件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「北海道農作物病虫害・雑草防除ガイド」等により適正な赤カビ病防除対策を実施していること（3回以上実施）。 ・取組実施面積：適正な病虫害対策を実施して収穫した対象作物の面積。 						
確認方法	<p>○助成対象者：交付申請書、営農計画書等で確認。</p> <p>○対象農地区分：営農計画書等で確認。</p> <p>○取組要件、助成対象面積等</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 作付面積（実面積）：共済加入者は共済取引面積、共済未加入者は農協が確認している面積により確認。 ② 取組実施面積（取組を実施した実面積）：作業日誌、圃場図、生産履歴等により確認 ※地域の実情に即し、必要に応じて、抽出による現地調査や聞き取り調査を実施 ③ 助成対象面積（a未満切捨て）：「①と②の小さな方」 ④ 交付額（円未満切捨て）：③助成対象面積×助成単価 						
備 考	<p>○以上のほか、国や道が別途定める取組内容に準じる。</p> <p>○産地交付金の道枠の取組メニューなどと支援内容が重複しないよう、産地交付金の取組メニューに設定・活用では留意する。</p> <p>○当該助成により、輪作体系の維持・確立を図ることを目的とする</p>						